

01 教会ニュース

いやしと神の力と答えのみわざがあふれたイ・スジン牧師の飯田万民教会ハンカチ集会と創立18周年記念礼拝
支教会4月スケジュール

02 いちのみことば

大きな驚くべき神の力
これから本教会が韓国のキリスト教界と世界に向けて進んでいくとき、神が与えられた不可能のない最高の力で聖書がまことであることを確かにして、人の心を変えさせて信仰を植えつけ、教えきれない魂を救うであろう。

03 インタビュー

ヨーロッパのキリスト教を目覚めさせて
霊的リバイバル運動を導いているAEGAヨーロッパ総会代表 リリアナ・バン・ホルン牧師

04 証し

神様は偉大ないやす主です
マンミンの働きを国際的に伝えてきたアメリカのキリスト教通信社アシスト・ニュースサービスの創立者にして代表者ダン・ウディン記者が自分自身が皮膚がんをいやされて、いやす主を体験した証し。

万民ニュース

第113号 2012. 3. 25.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org/Japanese

「今は時計の針がはっきり見えます」

いやしと神の力と答えのみわざがあふれた

飯田万民教会のハンカチ集会と創立18周年記念礼拝

「祈りを受けたとき、目に光の筋が取り巻いたら、ほとんど見えなかった時計の針がはっきり見えます。」(北原明子執事)

「からだと心が軽くなって、誰かが目の内側をグーッと押してくれるような感じがしましたが、その後二重に見えていた事物が正常に見えます。」(山下ルミ執事)

長野県の飯田万民教会(担任:柳シングル牧師)の創立18周年記念礼拝を一日前にして、2月18日、本教会の総括大教区長イ・スジン牧師を講師に開かれたハンカチ集会で、多くのいやしと神の力あるわざが現れて、神に栄光を帰した。飯田万民教会は日本で初めての支教会であり、地域社会へのボランティア活動と毎月のハンカチ集会を通して、主の愛を伝えている。

この日の集会には名古屋、松本、東

京、岡山、京都、沖縄などマンミンの支教会から恵みを慕う教職者と聖徒たちが参加して、聖殿をぎっしり埋めた。イ・スジン牧師は「いやす主」というタイトルで説教した後、神の力の込められたハンカチで聖徒たちに握手祈禱をした。多くの聖徒の視力が回復し、リンパ浮腫、蓄膿症、難聴、腰のヘルニアなどの病気が治り、証しがあふれた。

また「悔い改められる力が与えられた」「心に平安と喜びが臨んだ」などの恵みと回復のみわざが起きて、集会後も証しが続いている。

イ・スジン牧師は翌日19日、飯田万民教会創立18周年記念主日礼拝で説教し、教職者たちに会って励まし、霊的な成長を遂げられる方法を提示した。毎時間、本教会の芸能委員会所属パワーワーシップチームとソン・ユン

ヒ執事の日本語による特別賛美は聖徒たちに感動を加え、飯田万民教会の芸能チームの多彩な公演も続き、聖霊に満たされた時間になった。

万民中央教会は堂会長イ・ジェロク牧師が導いた1994年長野県飯田地域連合大聖会、1996年信州地域連合大聖会、2000年名古屋ミラクルコンベンションを通して日本宣教を活発に展開してきた。現在、東京、山形、大阪などに15の支教会と1つの協力教会がある。



講師イ・スジン牧師

◆ ハンカチ集会:「神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行われた。パウロの身に着けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った。」このように堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込

められたハンカチを通して、教えきれないいやしと答えのみわざが現れている。アメリカ、インド、中国、タイ、パキスタン、フィリピン、アフリカなど世界のあちこちでこのハンカチを持って集会が開かれている(使徒19:11-12)。



日本支教会4月スケジュール

4月3日(火)	聖殿移転入堂礼拝・創立6周年記念礼拝	岡山万民教会(講師:柳シングル牧師)
4月14日(土)	権能いやし聖会	別府万民教会(講師:加藤勲牧師)
4月21日(土)	創立1周年記念礼拝	京都万民教会(講師:柳シングル牧師)
4月22日(日)	創立12周年記念礼拝と特別いやし集会	東京田端万民教会(講師:鄭庚泰牧師)
4月25日(水)	権能いやし聖会	飯田万民教会(講師:柳シングル牧師)
4月25日(水)	権能いやし聖会	松本万民教会(講師:伊藤正明牧師)
4月28日(土)	癒しの集会	名古屋万民教会(講師:時國みや子牧師)
4月29日(日)	権能いやし聖会	東京万民教会(講師:崔ビョンラン牧師)
4月30日(月)	創立7周年記念礼拝	舞鶴万民教会

大きな驚くべき神の力



堂会長イ・ジェロク牧師

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行わざをを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。」(ヨハネの福音書14:12)

知識に知識を増して、罪と悪がはびこっている終わりの時に、数えきれない魂を救って、神の国を広げるためには神の力が必要です。教会開拓以後、今日まで、神は私たちの教会に想像できない力を施され、人の心を変えさせるみわざまでお与えになりました。これから韓国のキリスト教界と世界に向けて進んでいくとき、不可能がない最高の神の力で聖書がまことであることを確かにして、人の心を変えさせて信仰を植えつけ、数えきれない魂を救うでしょう。

1. 救い主の使命を果たすためによみがえられたイエス様の御力

〈マタイ12:38〉を見ると、律法学者、パリサイ人たちのうちのある者がイエスに「先生。私たちは、あなたからしるしを見せていただきたいのです。」と言いました。しかし、イエスは「悪い、姦淫の時代はしるしを求めています。だが預言者ヨナのしるしのほかに、しるしは与えられませんが、ヨナは三日三晩大魚の腹の中にいましたが、同様に、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。」と答えて言われました。

このしるしとは「イエス様が死んで三日目によみがえられること」を指していま

す。イエス様はなぜ、このしるしのほかに、しるしは与えられない、と言われたのでしょうか？ この「しるし」を行われることが、イエス様の本来の使命だからです。イエス様がこの地上に来られた目的は、罪人たちの代わりに木にかけられて、血を注ぎ出して死なれることによって、すべての罪を贖うことでした。また、死の力を打ち砕いてよみがえられ、救い主になられることでした。まさにこれがイエス様が究極的に見せてくださる「しるし」でした。

もちろん、イエス様は御国の福音宣教にも努めて、聖霊の力によって数多くの病人を治されました。目の見えない人、聞こえない人、話せない人、歩けない人のようにわずらいを持った者を完全に治し、悪霊につかれた者から悪霊を追い出してくださいました。また、水の上を歩いて、風と波を静めるなど、驚くべき力あるわざを無数に施されました。

このような神の力あるわざは、イエス様の本来の使命を裏付けるための付随的なものでした。イエス様が神の御子であることが信じられる証拠になったのです。しかし、最も重要なことは、神の御子であるイエス様が罪人たちのために死んでよみがえられ、救い主になられたということです。イエス様と同時代に生きていた人々だけでなく、世の初め以来のすべての人の救い主になるために、死んでよみがえること、これが私たちのイエス様が成し遂げられた、最も重要で大きいしるしでした。

2. 終わりの時の摂理を実現するために人の心までも変えさせる神の力

〈ヨハネ14:12〉に「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行わざをを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。」とあります。私はこのみことばを100%信じて祈りました。

その結果、神は今まで数えきれない不思議としるしを現すように働かれ、数多くの病人をいやしてくださいました。虹、星、雲、トンボなどを通して奇しみわざも無数に現してくださいました。

このように数多くの不思議としるしを現して下さった究極的な目的は、人々が神の生きておられることと、イエス様が救い主であることを信じて、神のみこころのとおり生き、すばらしい天国に至るように

するためでした。今日は罪と悪がはびこって、神の知識に逆らって立つあらゆる思想が乱れ飛んでいます。目に見えるしるしを見せても、疑って信じないし、神の力で病気がいやされても、信仰を捨てて世へ向かう人も多いです。

多くの人が神の驚くべき力を見れば、その瞬間は神を信じるようです。しかし、心から悪を捨て去らないと、再び疑いが芽生えてきます。結局、人を欺く情欲によって罪を犯し、救いの道から離れて、死の道に向かうのです。したがって「心の変化」が重要なのです。神が終わりの時に成し遂げようと願われる究極的なみわざが、まさに聖霊の力で人の心を変えさせることです。「人の心を変えさせる力」こそ「大きな驚くべき神の力」です。

このような力を通して神は公義に従ってすみやかに心を変えさせ、御霊に属する心に変えられるようにされます。初めの光を通して心の深くにある悪も悟り、以前よりさらにやさしく肉の性質を脱ぎ捨て、御霊の歩みに入るように助けてくださるのです。自分の義と棒に遮られて錯覚していた自分の姿を悟って、くもの巣のようにからまっていた肉の思いを打ち砕き、自分の欠けていたことと間違っていたことを徹底的に発見して捨てることができます。以前は断食しながら1か月、2か月、半年、1年かかっていたことが、今ははるかに早くできます。

このような恵みが臨むまでは、それにふさわしい代価を払わなければなりません。2011年6月の特別なやし集会和7月の機関長教育、そして年末に至るまで、神が支えてくださらなかったなら、私の霊とたましいがからだから離れるしかないところに至りました。こういう犠牲と献身によって、聖徒には霊的成長ができる大きい恵みと力が臨みました。受動的でいやいやながらする信仰生活でなく、御霊の歩みを慕ってもっと積極的に自発的な姿に変えられました。これを通して数多くの人が信仰の岩の上に立ち、数十人の御霊の人と全く聖なるものとされた人も出てきました。

3. 韓国のキリスト教界と世界に向けられた神の摂理を実現するために必要な神の力

神は、このように大きな驚くべき力が韓国のキリスト教界と世界の多くの人にも働かれることを望まれました。実際、韓国のキリスト教界は表に明らかにされてい

るよりはるかに墮落してしまいました。神のみこころとは反対に行い、御霊を冒瀆して逆らい、聖霊をけがしていても悟りません。もし神が公義だけを適用されるなら、絶対赦されない人が非常に多いのです。ところが、神は「その人たちはだめだ」と言われず、彼らも救われるような代案を用意されました。

それは、公義をはるかに超える愛の範疇に彼らまでいただくようにされ、彼らが悔い改めて立ち返って救われるように、道を提示していくことです。悪い者であっても生きる道を開いてくださるようとする神のお心を見せられるのです。

韓国のキリスト教界と世界に向けられた神の摂理を実現するためには「心を変えさせる力」がどうしても必要です。今後、韓国のキリスト教界の多くの人をいだいて、世界教区化を実現すれば、組織が非常に膨大になり、人の方法では管理するのがやさしくありません。それでも、担当の働き人たちは最大限知恵を絞って、最高の行政システムを備えなければなりません。ところで、もっと重要なことは、心が一つになれば、すべてが自動的に円滑に動くということです。

海外のどの奥地にいる牧会者でも、本教会と心が一つになれば、何も心配する必要がありません。ですから、世界教区化の戦術も「心の攻略」なのです。世界の多くの方が心から神を認めて、その愛を悟るようになることです。これにどうしても必要な武器がまさに「心を変えさせる力」です。公義の基準に従えば死ぬしかない人々にも、救いの機会を開くだけでなく、よりすばらしい天国を望むようにすることができます。

しかし、終わりの時は、反キリストの勢力も非常に大きくなりました。彼らは暗やみの力をもって肉の人々を操り、勢力を大きくしてきました。このような反キリストに立ち向かって、終わりの時に向けられた神の摂理を実現しなければなりません。したがって、今は御霊によって一つになった働き人と主のしもべが、ともに霊的な光を強く放たなければならぬ時です。

皆さんの祈りによって大きな驚くべき力が全世界に繰り広げられ、天で喜びの聲が絶えず鳴り響くよう期待します。また、一つの心でこの働きに参加して、神が喜ばれて心の願いに答えてくださるよう、主の御名によって祝福して祈ります。

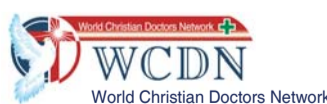


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnav.org
e-mail: webmaster@gcnav.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区ク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

ヨーロッパのキリスト教を目覚めさせて

霊的リバイバル運動を導いているAEGAヨーロッパ総会代表 リリアナ・バン・ホルン牧師



ヨーロッパで
イエス・キリストの福音を
伝えて働きを進めてきた
リリアナ・バン・ホルン牧師。
彼女は「2010年エストニア連合聖会」で
聖霊の力を体験した後
終わりの時
聖霊の火が消えた
ヨーロッパの教会を目覚めさせるために
熱い心で働いている。
彼女の働きと証しを聞いてみる。

Q 牧師先生はどんな働きをしておられるのでしょうか？

私は世界63か国に80万人の会員を持つキリスト教団体AEGA(The Association of Evangelical Gospel Assemblies)のヨーロッパ総会長です。AEGAヨーロッパ本部はオランダにあって、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、ポーランドなどに支部があります。

働きの一つは牧会者に公式の牧会活動ができる権限を与えることです。彼らに信任状と許可証を発給して支援する役割をしています。それだけでなく、該当国家の医療支援や極貧層を助けて、必要ならば財政支援をします。また、インド、アフリカなど世界の多くの国で聖書学校を開いていて、いろいろな専攻分野を備えたキリスト教大学も運営しています。その他、福音宣教に必要な教育分野などに支援を惜しみません。

Q 現在ヨーロッパのキリスト教の状況はどうでしょうか？

聖霊の火が消えて、教会は看板を下ろしているのが現実です。扇情的なマスメディアと政治、経済、社会的な要因によってキリスト教がリバイバルするのに困難を経験しています。けれど、私たちの団体は祈りの火をつけていて、各教会に聖霊の火が燃え上がることを慕っています。

Q エストニア連合聖会にどのように参加されましたか？

私はベルギーのブリュッセル万民教会の担任ギ・ダビツ牧師先生を通して、万民中央教会とイ・ジェロク牧師を知りました。2010年10月、イ・ジェロク先生がエストニアのタリンで聖会を導かれるという知らせを聞いて、慕って参加しました。なぜならイ・ジェロク先生を通して施される神の力あるわざを十分聞いてきたからです。

Q そこで何を見て、体験されましたか？

聖会の時、歩けなかった人が直ちに車椅子から立ち上がって歩き始め、がん、白血病など各種の病気がいやされるなど、多くの聖霊のみわざと奇蹟が起きるのを見ました。本当にすばらしかったです。

私たちは神様が存在しておられるという事を必ず信じなければなりません。信仰がなかったなら、私の夫はいやされることができなかつたし、私はイ・ジェロク先生に出会えなかつたでしょう。

Q ご主人が祈りを受けていやされたのですか？

夫は普段病んでいた心臓病が急激に悪化して、心臓機能の20%程度だけその役割をしていました。医師たちは、あまり長く生きられないだろうと言いました。

このような状況で万民中央教会に祈りを依頼して、イ・ジェロク先生の時間と空間を超えた祈りを受けたので、そのたびに危機を克服できました。エストニア聖会の前、私は祈っているうちに「イ・ジェロク牧師のところに行けばいやされるだろう」という聖霊の声を聞きました。夫と私は車椅子に頼ったままオランダからエストニアへ向かいました。

エストニア聖会の時、講壇でしてくださる祈りを受けて、夫は車椅子から立ち上がり、いやされた後には車を運転できるほど健康になりました。神様は夫の命を延ばして、必要な時間を持てるようにしてくださいました。そして昨年2011年、夫は天に召されました。故郷である天国へ旅立つ瞬間、御使いたちに囲まれました。笑みを浮かべて眠るように息を引き取った夫は幸せそうに見えました。

Q 牧師先生もいやしの体験があるのですか？

私はお尻の部位が黒くなるほど血がたくさんたまっていました。医師は私が歩けないだろうと言いました。私は聖会が開かれる前、イ・ジェロク先生に会って祈りを受けました。その瞬間、聖霊の火が臨んで、完全にいやされました。

Q 牧師先生の働きのビジョンは何ですか？

神の国を大いに実現することです。私どもはAEGAがイ・ジェロク先生とともに働くなら、本当にすばらしい働きになるでしょう。牧会者たちにはまことの信仰を持てるようにする霊的な支援が必要だからです。それが聖潔の福音と神の力あるわざであることを確信しています。これからヨーロッパでも熱くこれを伝えます。



お知らせ

マンミン賛美日本語 アルバム製作



2月26日、本教会の芸能委員会からマンミン賛美日本語アルバムがCD2枚組でリリースされた。日本の聖徒たちの熱い要請により、初めて外国語に翻訳されたマンミン賛美アルバムで、韓国語アルバム1、2、3、4集から26曲が収録されている。「牧者の心」「祝福」「わがうちにおらる聖霊様」「主を待つ」「牧者の城」他が収録され、ソロ、デュエット、コーラス、韓国の伝統的民俗芸能のパンソリなど多彩な構成になっている。マンミン賛美の歌詞とメロディーは神ご自身が下さったもので、聖徒たちは「歌うほど心が浄化されて、神様の愛と天国の望みで満されます」と言っている。



神様は偉大ないやす主です

ダン・ウディン記者(アシストニュースサービス創設者および代表)

1960年のある日、母から手紙を受け取りました。父の容態が急に悪化しているという事でした。

「お父さんが腸がん末期だよ。後3か月だって！」

当時、カナダに住んでいた私はイギリスへ戻り、信仰の強い母と妹と一緒に父のために切に祈りました。神様がその祈りをお聞きになって、父は奇蹟的に完治して、さらに30年余り生きました。このことを通して、イエス様を私の救い主として受け入れました。ところが、イギリスで記者生活をしながら、神様を遠ざけるようになりました。

「ダン、神様は君に記者としての才能を与えられたのに、低級記事なんか書いているんだな！ウガンダで殉教しているクリスチャンたちについての記事をちょっと書いてくれたらいいのに。」ある日友だちが私に言いました。

キリスト教マスコミ「アシストニュースサービス(Assist News Service)」開設

1979年、私はウガンダに渡って、キリスト教迫害の実状を報道する記者として活動しました。私は1992年、ビリー・グレーム牧師のモスクワ大聖会関連記事を寄稿して、実力を認められたりもしました。

私がその聖会から帰ったとき、妻は私に「ビリー・グラハム牧師も神様があなたの才能を用いられると思っているのに、なぜ記者生活をしないんですか？」と言いました。

事実、私は記者活動をしながら放蕩していたことに対する罪責感のために、モスクワ大聖会取材に行く前までも記者活動を休んでいました。ところが、妻の勧めがあり、「これからは自分の才能を神様のために用います」と覚悟を確かめるきっかけになりました。これが「アシストニュースサービス(www.assistnews.net)」を開設す

るようになった動機です。

アシストニュースサービスは世界宣教、迫害されている教会、大衆文化などを扱う、APやロイターのような報道機関です。全世界2,600余りの報道機関と数千人の個人購読者にもニュースを提供します。

私はイギリス女王エリザベス2世等、著名人や団体から受賞した経歴がたくさんあります。また、UPI通信会社で解説者として活動しながら、取材とインタビューで忙しくしていました。そのうち最も意味があり重要だったのは、万民中央教会と堂会長イ・ジェロク牧師との出会いでした。

イ・ジェロク牧師の海外連合大聖会を取 材報道

2001年、キプロスで開催されたSAT7(アラブキリスト教放送)集いの時に会ったキム・ジノン長老(GCN放送局長)を通して、万民中央教会を知るようになりました。その後、イ・ジェロク牧師が講師として立ったロシア、ドイツ、ペルー、アメリカ、イスラエルなどでの海外連合大聖会取材して、報道し始めました。イ・ジェロク牧師が実践している世界宣教はとても特別でした。

たとえば、福音宣教が危険な国々で連合大聖会を開催したということです。2002年、インド・チェンナイ・マリーナビーチで開かれたインド連合大聖会はタミル・ナードゥ州政府が聖会を法的に開催できないようにしましたが、延べ人数300万人以上が殺到して、公に福音を宣べ伝え、数多くの人々が改宗するみわざが起きました。まるでイエス様の弟子たちが多くの迫害の中でも、伴うしるしでみことばを確かに宣べ伝えたように、福音宣教を妨害する国でも、何の恐れもなく驚くべきしるしと不思議、神の力によってイエス・キリストを確かに証しするマンミンの働きには尊敬さえ感じました。

また、WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)の働きは私にとって非常に興味深かったです。私はWCDN主催により数か国で開催された国際キリスト教医学学会を取材報道しました。全世界の医師たちが集まった中で、神の力でいやされた事例を医学的資料をもって発表することは、本当に意味あることでした。これは世の人々にも聖書がまことであることを立証することです。

万民中央教会と神の力の働きに魅了され

私は今まで万民中央教会を七回訪問しました。そのたびに聖徒の皆さんは堂会長イ・ジェロク牧師を愛して、イ・ジェロク牧師も聖徒たちを特別に愛する心が感じられました。このように牧会者と聖徒の間に深い霊的な愛の絆が結ばれた教会は、私としては初めて見ました。また、説教は霊的に強い力があって、美しい賛美と演奏、主に献身している芸能チームの姿は天国を連想させました。

私はイ・ジェロク牧師のメッセージと祈りを通して、福音と神の力が確かに証しされているのを目撃しました。病氣と苦しみの中で生きていた多くの人が、信仰によって神の恵みと力を体験していました。

それだけでなく、GCN(世界キリスト教放送ネットワーク)放送と文書宣教、ムアンの甘い水、ハンカチ集会などを通して、韓国だけでなく世界のあちこちで数多くの人々がイエス・キリストを受け入れる驚くべき奇蹟が絶えず起きていました。この驚くべきマンミンの働きに関するニュースを私は全世界に打電しました。これに対して読者たちが賛辞を送り、特に北朝鮮宣教とWCDNの働きに感謝の意を表しました。

額にできた皮膚がんのいやし

2011年10月、私は驚くべき奇蹟を体験しました。ある日、額に腫瘍ができて、ますます大きくなりました。皮膚科で組織検査を受けた結果、「皮膚がん」だと診断されて、除去手術をしましたが、完治しませんでした。

万民中央教会の創立29周年前夜行事があった10月7日の金曜徹夜礼拝の時、イ・ジェロク牧師が説教を終えた後、「いやしの祈り」をしてくださいました。私は直ちに額に手を当てて、信仰で祈りを受けました。

まさにその時でした。まるで電気ショックのような何かは患部を通るのを感じました。一瞬、いやされたという確信とともに「奇蹟だ、奇蹟！」と何度も言いました。

私はアメリカへ戻り、主治医に一部始終を話して、診断を受けました。はたしてがん細胞が見えませんでした。奇蹟的な事実の前に妻のノーマと抱き合っ、うれしくてどうしていいかわかりませんでした。これらすべてのことはイ・ジェロク牧師の祈りに答えられた神の驚くべき奇蹟だったのです。

神様は偉大ないやす主です。神様の偉大な奇蹟がきのうもきょうも、いつまでも、同じように現れているという事実は疑う余地がありません。もし病気で苦しんでいる方がいるならば、神様の奇蹟が皆さんにも起きるように祈ります。



愛する妻とともに

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト鉾田万民教会
〒311-2102 茨城県鉾田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト京都万民教会
〒612-8154 京都市伏見区向島津田町128-1
とりまさビル3F
T) 075-632-8201

・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861